

Windows 7

U2SCX-LVD ドライバインストールガイド

このドキュメントでは以下の順番で U2SCX-LVD の導入を説明します。

Windows 7

- A . USB ドライバの組み込み
- B . SCSI ドライバの組み込み

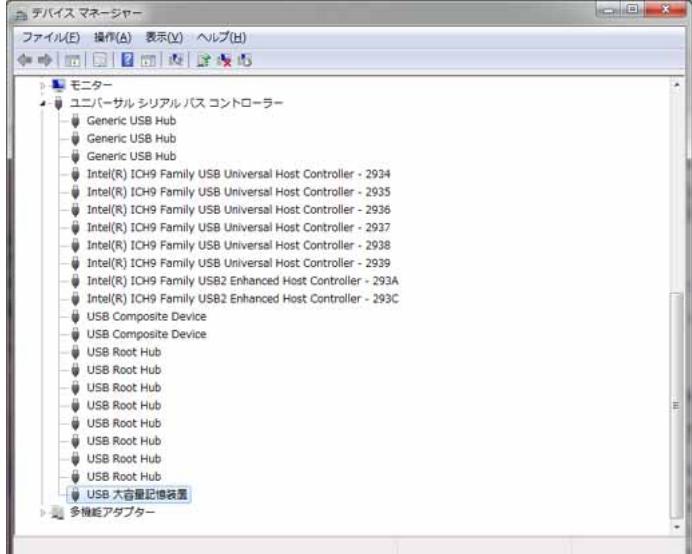
A. USB ドライバの組み込み



Windows 7 を管理者アカウントまたは標準アカウントで起動します。(新しいハードウェアを組み込む権限のあるアカウントでパソコンを起動する必要があります。)

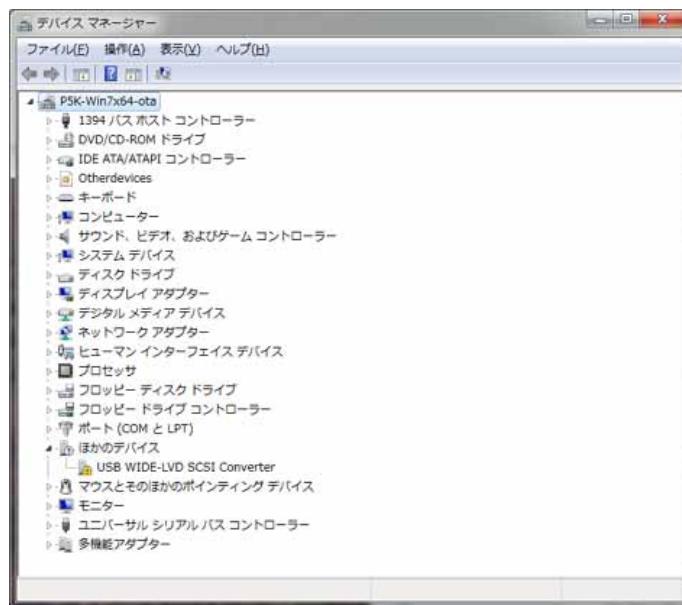
ドライバ組み込みの手順（この例では、Windows7 x64 を使用しています）

- 1 マニュアルに従い、WIDE SCSI 機器に U2SCX-LVD を取り付けます。
USB ケーブルをパソコンの USB 端子に装着してください。
新しいハードウェア検出の画面が表示されますがすぐ終了します。デバイスマネージャには右のように認識されます。
「コンピュータ」「システムのプロパティ」「デバイスマネージャ」をクリックしてください。
「ユニバーサルシリアルバスコントローラー」に「USB 大容量記憶装置」と表示されれば、SCSI 機器がハードディスクと考えられます。この場合、インストール作業は終了です。

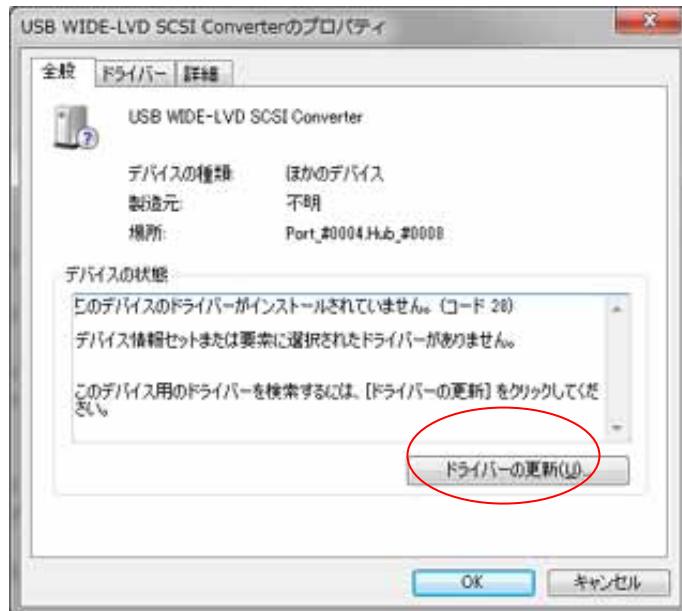


2 「ほかのデバイス」に「USB WIDE-LVD SCSI Controller」と表示された場合は、スキャナーやテープを接続しているかハードディスクを複数接続しています。

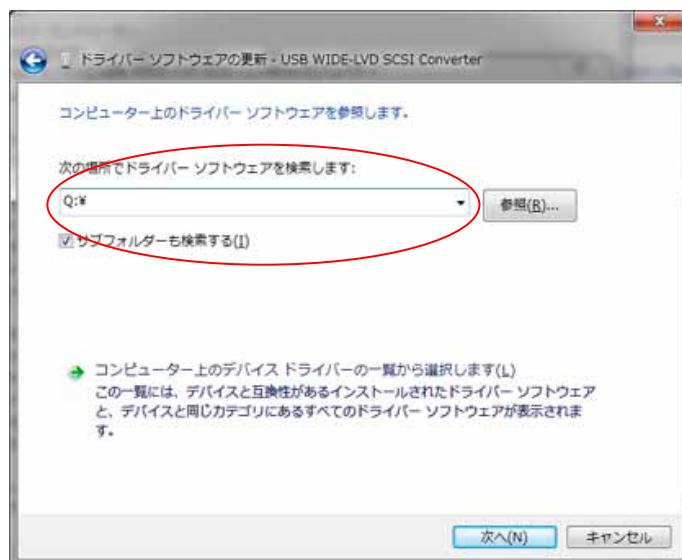
「ドライバの詳細」をクリックしてインストールを続けます。



3 デバイスの状態のエラーコードがコード28であることを確認して「ドライバの更新」をクリックしインストールを続けます。「ドライバソフトウェアを手動で検索してインストールを行います」を選択します。



4 ドライバ CD-ROM をセットした場所を指定します。この例では Q ドライブが CD-ROM 装置になります。ドライバをダウンロードして入手した場合はドライバパッケージを展開した場所を指定します。

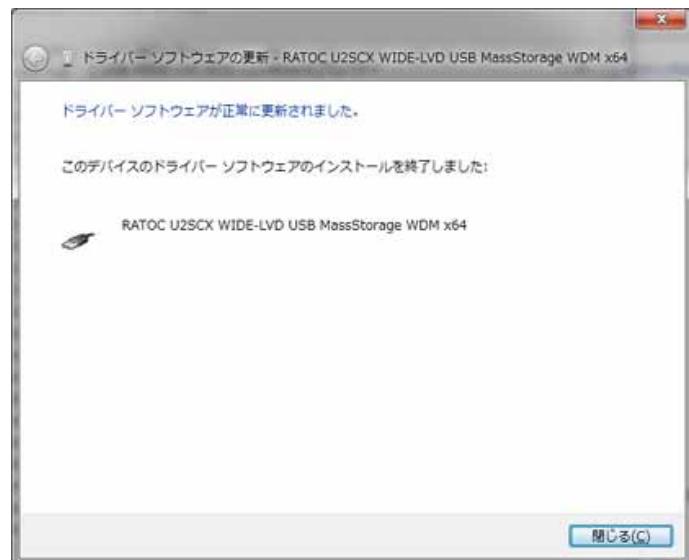


5 インストールしてよいかの確認メッセージが表示されます。

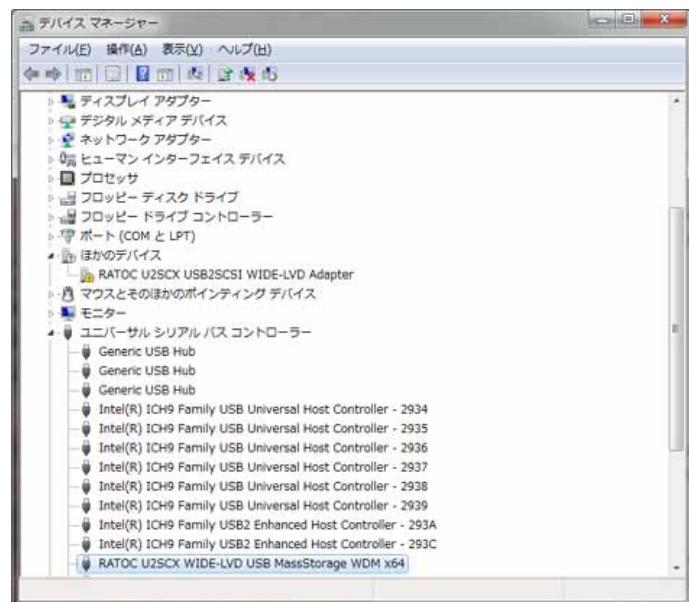
ここでは「インストール」をクリックしてください。



6 ドライバのコピーが完了しレジストリ登録すると完了のメッセージとなります。「閉じる」をクリックしてください。



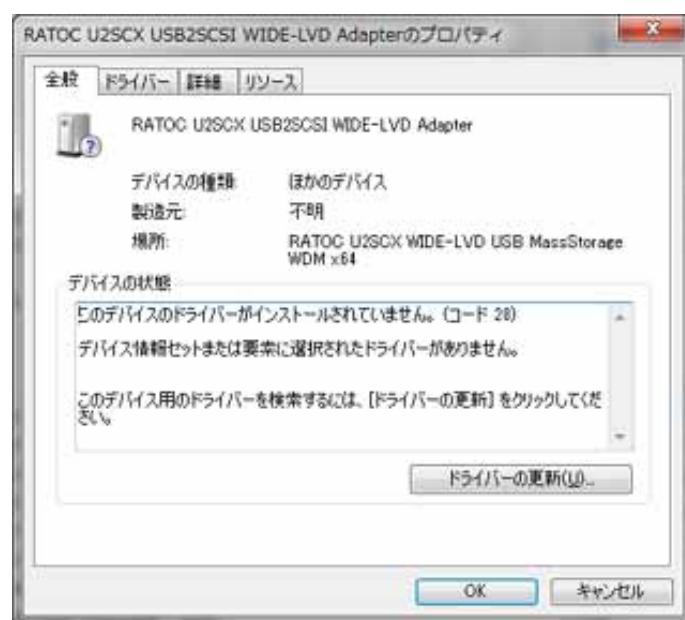
7 RATOC U2SCX WIDE-LVD USB MassStorage WDM ドライバが「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」に登録されたことを確認し「ほかのデバイス」に RATOC U2SCX WIDE-LVD Adapter があることを確認します。



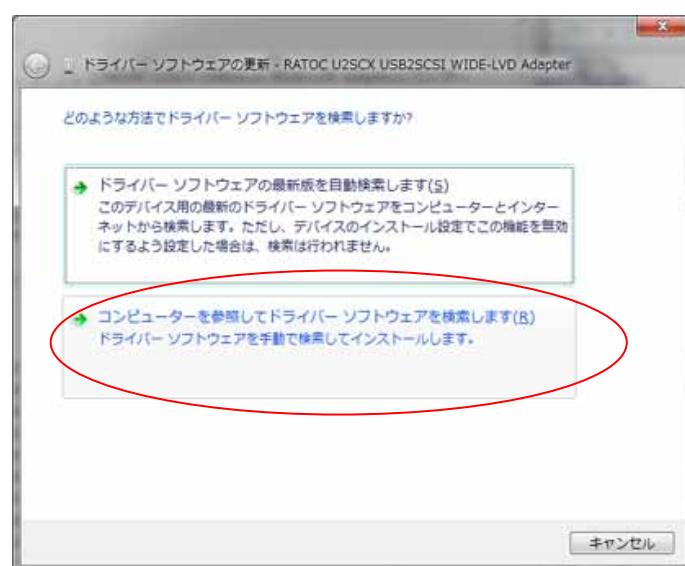
B. SCSI ドライバの組み込み

ここから SCSI ドライバの組み込みに入ります。

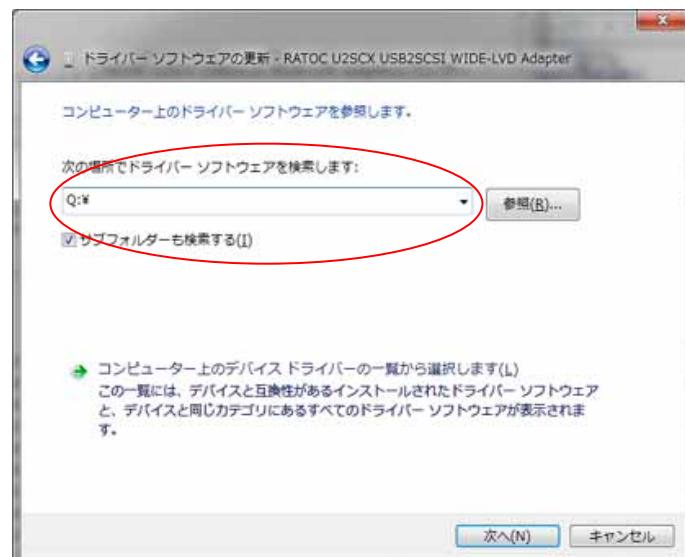
1 デバイスの状態のエラーコードがコード 28 であることを確認して「ドライバの更新」をクリックしインストールを続けます。



2 「ドライバソフトウェアを手動で検索してインストールを行います」を選択します。



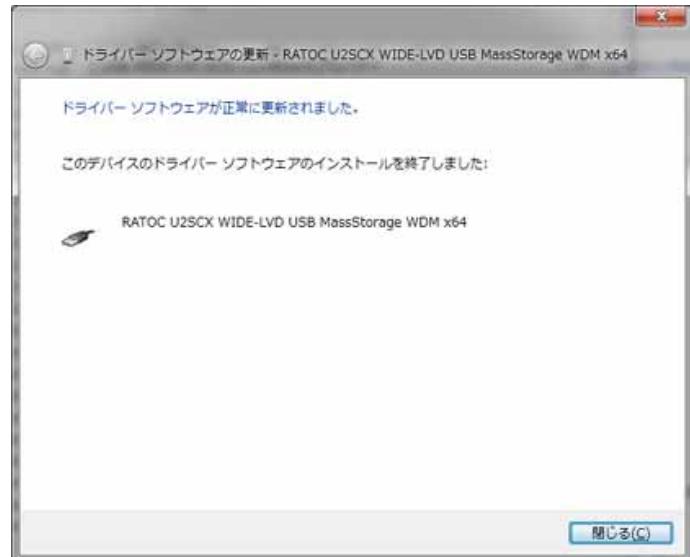
3 ドライバ CD-ROM をセットした場所を指定します。この例では Q ドライブが CD-ROM 装置になります。ドライバをダウンロードして入手した場合はドライバパッケージを展開した場所を指定します。



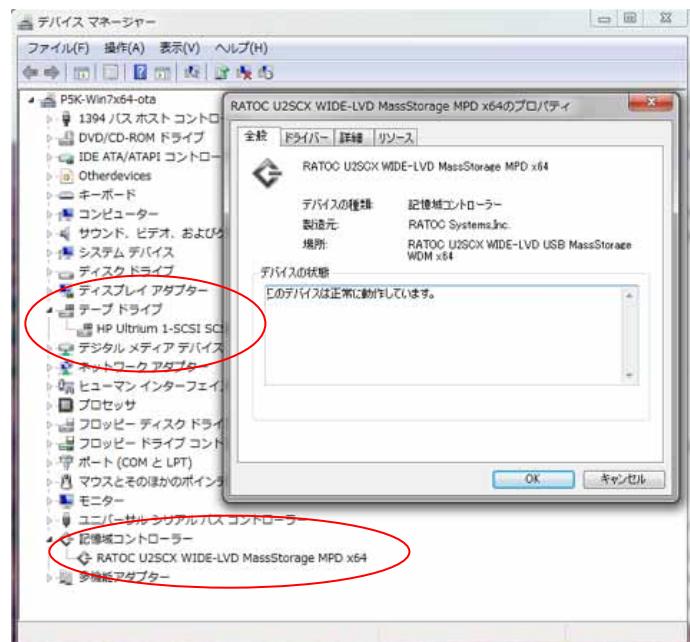
- 4 インストールしてよいかの確認メッセージが表示されます。
ここでは「インストール」をクリックしてください。



- 5 ドライバのコピーが完了しレジストリ登録すると完了のメッセージとなります。「閉じる」をクリックしてください。



- 6 ドライバインストールの確認をします。
RATOC U2SCX WIDE-LVD
MassStorage MPD のプロパティを開きドライバの詳細を確認します。
また、この例ではテープドライブに
SCSI機器が登録されることを確認します。



ドライバソフトウェアの証明書について

SCSI Pro Shop で提供しているドライバファイルはすべてデジタル署名済みです。これは弊社から正式にリリースされたドライバであることを証明するものです。
また、署名者情報の証明書は期限が設けられていますが、この期限が切れて使用できなくなることはありません。そのまま問題なく使用できます。